



かながわミュージアムマップ 2019-2020 横浜地域特集



1 横浜

1	熊野郷土博物館 神社への関心と郷土愛の発揚に
----------	----------------------------------

社室では熊野山略録起の版木・光孝天皇輪官箱・雨乞龍頭・刀剣などがあります。考古資料では横浜市歴史博物館の企画展にも出展された横浜市鶴見区駒岡堂ノ前古墳出土の古墳時代の形象埴輪類・港北区師岡町出土の中世の骨滑壺など、古文書では中世の熊野山略録起・北条早雲寄状状写、民俗資料では筒粥神事（市指定無形民俗文化財）に用いる筒などが代表的であります。特に堂ノ前古墳出土の鬘形・鞍形・大刀などの形象埴輪類は、横浜地域を代表する資料として著名です。

2	横浜市歴史博物館 横浜 3 万年の歴史を知りたいならココ！
----------	---

弥生時代の環濠集落と墓地为復元された緑豊かな、大塚・蔵勝土遺跡公園に隣接した横浜市歴史博物館は、常設・企画展示室での展示見学、図書閲覧室での調べ物、体験学習室でのものづくりなど、横浜の歴史に関する様々なことが体験できる施設です。

当館は施設改修工事に伴い2019年8月31日(木)～2020年3月31日(火)の日程で休館いたします。この間、常設・企画展示室や図書閲覧室など館内施設は利用できなくなりますが、大塚・蔵勝土遺跡公園については、通常通り公開し、公園内工房ではワークショップを開催します。ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

4	横浜そごう美術館 ジュニア歓迎！そごう美術館
----------	----------------------------------

横浜駅東口そごう横浜店に誕生して以来 32 年。雨が降っても傘をささずに改札口を東口に進めば、そごう横浜店の大時計がお迎え、6階が美術館です。地域の人々により良い美術作品をご鑑賞いただくことを第一として、開港都市横浜に縁のある展覧会などを開催、'20 年度は初めて写真展に挑戦します。また展覧会ごとにジュニアガイドをつくり未来の巨匠のために美術館を身近に感じて頂く機会を設け、夏休みには課題が出来るジュニアルームを開設しています。

5	横浜美術館 横浜みなとみらいの中心に建つ美術館
----------	-----------------------------------

シンメトリーな外觀と、吹き抜ける開放的なグランドギャラリーが特徴の当館は、7 つの展示室のほか、11 万冊以上の蔵書がある美術情報センター、多彩なワークショップを行うアトリ工房を備え、[みる][つくる][まなぶ] 場として幅広い年齢層の方々に親しまれています。年間を通じて、約 1 万 2 千点の所蔵品からテーマごとに展示を行うコレクション展や多彩な企画展を開催し、国際的な港町、横浜にふさわしい美術館として、開港以降の近・現代美術を幅広く紹介しています。

6	横浜みなと博物館・帆船日本丸 柳原良平作品の常設展示室もオープン
----------	--

「横浜みなと博物館は横浜港をテーマにした初めての博物館です。「歴史と暮らしのなかの横浜港」をメインテーマに、横浜港 160 年の歴史と横浜港の仕組みと役割を伝えています。常設展示のほか企画展や工作教室なども開催しています。2018 (平成 30) 年には館内にアンクルリスの広告デザインや船の絵で知られる柳原良平の常設展示室「柳原良平アートミュージアム」がオープンしました。博物館が立地する日本丸メモリアルパークは国指定重要文化財の帆船日本丸も保存公開しています。

7	野毛山動物園 気軽に訪れて楽しめる動物園
----------	--------------------------------

野毛山公園内にある野毛山動物園は、開園から半世紀以上経つ入園無料の動物園。レッサーパンダをはじめキリンやライオンなど約 100 種2500点の動物を飼育しています。なかでも、ニューカレドニア島の飛べない鳥カグーやマダガスカル島のごく一部に生息するヘキサリクガメは、国内で展示しているのはここだけという希少な動物です。なかよし広場では、モルモットなどの小動物と触れ合ふことを通じて命やぬくもりを感じることができます。

8	日本郵船歴史博物館 近代日本海運史をたどる博物館
----------	------------------------------------

1936 年に建てられた古典主義様式が特徴の横浜郵船ビル 1 階にあり、映像を中心に貴重な写真や客船パンフレットなどを展示し、近代日本の海運史を、日本郵船(1885 年創業)の社史を通して紹介しています。中でも昭和初期に活躍した「浅間丸」や「氷川丸」など、幻のモデルメーカー粉山艦船模型製作所の船体模型は、竣工当時の迫力ある姿が細部まで表現されています。

年間を通じて多彩な企画展や講演会を開催、夏休みには子ども向けのイベントも行うなど、海事思想の普及と力を入れています。

9	神奈川県立歴史博物館 かながわの歴史と文化、てんご盛り！
----------	--

旧石器時代から 1964 年の東京オリンピックごろまでのかながわの歴史と文化について通史的に紹介する常設展示のほか、学会員の調査研究の成果にもとづく特別展・コレクション展示・特別陳列と各種の講座など、さまざまな事業を展開しています。国指定重要文化財・史跡である旧横浜正金銀行本店を活用した建物の中で、貴重な歴史資料や美術作品、そしてそこに集う人々との出会いをお楽しみください。

10	JICA 横浜海外移住資料館 新世界に貢献した日本人移民の歴史
-----------	---

150 年前に始まった日本人の海外集団移住は、つい最近まで続いており、中南米には約 213 万人以上もの日系人が暮らしています。多くの外国人就労者を迎える側となった今、改めて、鎖国が解けて間もなくしてハワイやアメリカ、そして中南米各国に移住した人々がここ横浜をはじめとする日本を発った時の想い、持参した荷物、新世界での生活、そして今日の日系社会の姿などを学んでみませんか？ 移住者の方々から寄贈いただいた品々や、その復元品などを展示しています。

11	横浜開港資料館 日本の近代、ここに始まる
-----------	--------------------------------

横浜開港資料館は江戸幕府とアメリカのペリー提督が日米和親条約を締結した場所に建っています。その中央にある大館「たまくす」は、ペリー来航時から存在する横浜の生き証人で、関東大震災や横浜大空襲を経て現在にいたっています。また、施設は 1931 年に建てられたイギリス総領事館を活用しています。当館は横浜の「記憶装置」として、企画展示等を通して横浜の近代史を発信するとともに、閲覧室にて所蔵資料を公開しています。

12	横浜都市発展記念館 目でみる都市横浜の歩み
-----------	---------------------------------

当館は、1929 (昭和 4) 年に横浜中央電話局の局舎として建てられた歴史的建造物を活用し 2003 (平成 15) 年に開館しました。当館の常設展では、現在の横浜都市をよりよく理解するために、その原型が形成された昭和期を中心にして、「都市形成」「市民のくらし」「ヨコハマ文化」の三つの側面から、都市横浜の歴史を紹介しています。また、企画展を年 2 回開催し、横浜地域における昭和期全般の最新研究の成果を紹介しています。中庭では市内から出土した土木遺構を展示しています。

13	横浜ユーラシア文化館 ユーラシアの広がり多様性に触れる
-----------	---------------------------------------

当館は広大なユーラシア地域に暮らす人々の民族・考古・歴史・美術に関する資料を展示紹介する施設です。常設展示では、「砂漠と草原」色と形「技」「装う」「伝える」のテーマのもと、異なる地域、異なる時代の資料を一堂に展示しています。それらを比較することで、様々な民族のつながりや多様性に気づいていただければ幸いです。約 5000 年前の中国の彩陶鉢など、時空をこえた逸品の数々をご覧いただけます。

14	ニュースパーク (日本新聞博物館) 楽しく、深く、新聞を学ぶ博物館
-----------	---

日本最初の日刊新聞である横浜毎日新聞をはじめ、今昔さまざまな紙面を展示し、新聞・ジャーナリズムの歴史や役割を伝えています。デジタル化の進展により大量の情報があふれる中、情報を見きわめることの大切さ考えるコーナーもあります。タブレット端末を使いながら取材を体験するゲーム「横浜タイムトラベル」、オリジナル新聞を作る「マイ新聞づくり」など、楽しくも活用できるプログラムも用意。年 4 回、新聞やジャーナリズムに関連した企画展を開催しています。

15	プリキのおもちゃ博物館 ノスタルジックなプリキのおもちゃたち
-----------	--

プリキのおもちゃ博物館では、1890 年代から 1960 年代にかけて主に日本で製造された玩具約 3000 点を常設展示しています。これは館長の北原康久が 1973 年頃から収集したコレクションの一部です。古い洋館に展示されたおもちゃは、乗り物や動物、ロボットなどにコーナーが分かれており、世代を超えて楽しんでご覧ください。異国情緒あふれる横浜で懐かしいあの頃にタイムスリップしてみませんか。

16	大佛次郎記念館 港の見える文学館
-----------	----------------------------

四季折々の花が美しい「港の見える丘公園」に、赤レンガの外観が一際目立つ館。「バリジャン!」[天皇の世紀][霧笛] など多様なジャンル作品で知られる、横浜ゆかりの作家「大佛次郎」の作品と生涯を紹介する文学館です。常設展のほか、年に 3 回のテーマ展示を行なっています。赤レンガタイル、青いスタンドグラスやモザイクタイルの床など、建築の意匠も必見です。猫好きの大佛次郎にちなみ、館内のいたるところに猫のオブジェが置かれ、皆さまをお迎えています。

17	神奈川県立神奈川近代文学館 夏目漱石デジタル文学館を公開中
-----------	---

日本近代文学の資料を収集、公開する文学の総合ミュージアムです。明治期以降に活躍した文学者の肉筆資料を中心に、文学書や雑誌など合わせて現在約 126 万点を所蔵しています。特に文豪・夏目漱石の肉筆資料や遺品類は国内屈指の資料数であり、常設の特別コーナーを設けて展示しています。また、閲覧室では画像アーカイブ「夏目漱石デジタル文学館」を専用端末で公開のほか、文学館の公式サイトでも漱石資料の高精細な画像をご覧いただけます。ぜひ当館HP で閲覧下さい。

18	岩崎博物館 (ゲーテ座記念) ファッションとアートのミュージアム
-----------	--

異国情緒を感じる横浜・山手にある岩崎博物館(ゲーテ座記念)は、学校法人岩崎学園・横浜洋裁専門学校(現・横浜「カレッジ」)の記念事業の一環として 1980 年に建てられました。ファッションの歴史やアル・ヌーヴォー期の工芸品を展示しています。また、かつてこの地にあった西洋式劇場ゲーテ座に関する資料を併せて展示しています。ギャラリーでは、横浜で活躍する作家を中心に絵画、版画、彫刻などさまざまなジャンルの展覧会をお楽しみいただけます。

19	山手資料館 文明開化 横浜の面影を残す
-----------	-------------------------------

港の見える丘公園、元町公園、山手外国人墓地、教会、学校など、横浜の歴史を物語る文化的自然環境の中にあります。建物は明治 42 年(1909) 本校上台の中澤兼吉邸として建造された「和洋併設住宅」の洋館部分を移築保存再生(横浜市認定歴史建造物)。関東大震災後に、兼吉氏の父、源蔵が明治 5 年(1872) に中澤牧場創業者の地、諏訪町に移築されました。昭和 52 年(1977) 4 月、本多正道が横浜開港当時の歴史を後世に伝える為、古きよき横浜の面影を偲ばせる資料館として開館しました。

20	シルク博物館 すばらしいシルクの世界へようこそ！
-----------	------------------------------------

シルク博物館は、横浜の大小橋近くに通つシルクセンタービルの 2 階にあります。横浜とシルクに関する歴史や、着物など衣裳を中心とした絹製品、古代から現代までの復元時代衣裳などの資料を展示しています。また、年間を通じて蚕(かいこ)を飼育しているので、蚕がエサを食べたり、まゆをつくらせたりしているところを観察できます。そのほか、まゆから糸を取り出す「糸くり」や、から布を織る「はた織り」の体験コーナーもあり、子どもからおとなまで幅広く楽しめます。

21	創価学会戸田平和記念館 港ヨコハマの歴史が薫る文化の館
-----------	---------------------------------------

建造は関東大震災前の 1922 年(大正 11 年)。もとは英国貿易商の横浜支店で「イギリス七番館」と呼ばれました。震災に耐えた英国商館として極めて希少な遺構です。1979 年(昭和 54 年)、建物正面の外観を当時のまま保存しつつ、平和展示の資料館としてオープン。これまで 100 万人以上が各種展示会を鑑賞しました。また同館は文化的価値が非常に高く、横浜市の「歴史的建造物」にも認定されています。現在は休館中ですが、夜間のライトアップで山下公園通りに彩りを添えています。

22	横浜人形の家 親子三世で楽しめる人形の博物館
-----------	----------------------------------

世界 100 以上の国と地域、約 1 万点以上の人形を収蔵している人形専門博物館です。常設展示では 1,200 点以上の懐かしい人形と出会うほか、人形国宝の手による貴重な人形も展示しています。年間を通じてさまざまなテーマで開催している企画展では、昨今注目を集めるフィギュアやキャラクター、アニメといった「クールジャパン」と呼ばれる新しい人形文化の視点も取り入れ、「観る」「学ぶ」「楽しむ」を来館者の皆様と共有できる施設を目指しています。

23	馬の博物館 馬を知り、触れ合える博物館
-----------	-------------------------------

日本初の本格的な洋式競馬場の跡地に立つ博物館です。横浜競馬の歴史やウマの進化・生態にスポットを当てた常設展示に加えて、歴史・美術・自然・競馬など、様々なジャンルを扱ったテーマ展を年に数回開催しています。春と秋には特別展・企画展も開催しています。併設するポニーセンターでは、サラブレッド、ポニー、日本在来馬などを飼育しており、数種類の馬の様子を見学することができます。乗馬体験やじんじタイムなど、馬と触れ合えるイベントも行っています。

24	横浜本牧絵画館 具象絵画ファン必見
-----------	-----------------------------

当館は横浜の名勝「三溪園」に近く、絵を見ること・描くことが好きな方のための、具象絵画を中心とする私設美術館です。戦後まもなくフランスに渡り、生涯パリで制作した画家・若田榮吉をメインとした資料を収蔵し、年に数回の「特別展」と横浜本牧に関する「常設展」を実施しています。また、志をもって絵画制作活動しない研究活動に取り組んでいる方々を対象として、制作・研究の成果を公表する場と、活動を継続できる環境を確保するための公募型支援を行っています。

25	三溪園 古建築と四季折々の自然の美しき調和
-----------	---------------------------------

三溪園は、明治時代から大正時代にかけて製薬家や生糸貿易で財を成した横浜の実業家・原三溪(本名富太郎)が、本牧三ヶ谷の地に造り上げた日本庭園です。京都・鎌倉等から移築された国指定重要文化財を含む 17 棟の歴史的建造物と、四季折々の自然とが織りなす景観は、国内外の多くの観光客を惹きつけてやみません。原三溪が支援した作家や三溪自筆の作品等の所蔵品展、四季の風物を楽しみ催しを通じ、日本伝統文化の紹介・普及活動を行っています。

26	横浜市立間門小学校附属海水水族館 ほくたちわたしたちの水族館
-----------	--

昔の間門小学校の校庭の先には遠浅で美しい海岸があり、子どもたちは自然の中で潮干狩りや海水浴、魚を捕まえることができました。海洋はなりましたが、全国の公立小学校ではめずらしい「小学校付海水水族館」が併設され、海の生き物を観察したり、親しんだりすることができます。水族館委員会の児童が魚たちのお世話をしています。

27	横浜市技能文化会館匠プラザ 私たちの生活や文化を支える職人と技能
-----------	--

横浜開港とそれに伴う産業の発展とともに、衣食住全般にわたって外来文化が取り入れられ、横浜に集まった職人たちが創意工夫を重ねて技能文化を築きました。「匠プラザ」は当時の職人たちの技能と暮らしを知ることで、道具類の展示や横浜マイスター作品展示がある小さなスペースです。技能職者を講師に招いた「匠の学校」や夏の子ど体験教室「匠の小学校」など、職人の技能に触れていただく講座やイベントを企画・開催しています。

28	横浜市子ども植物園 花と緑の魅力を伝える植物園
-----------	-----------------------------------

横浜市子ども植物園は、著名な植物遺伝学者である木原均博士の研究所跡地に、昭和 54 年国際児童年を記念して開園した、日本で唯一「子ども」と名がつく植物園です。園内には、バラ園、野草園、くだもの園、竹園、花木園、生垣園などが整備され、中には、ニュートンのリンゴの木、メンデルのブドウをはじめ珍しい植物が数多く集められています。また、園内 28ヶ所に植物クイズパネルが設置され、楽しみながら植物について学ぶこともできます。

29	神奈川県立金沢文庫 中世の歴史と文化が息づく金沢文庫
-----------	--------------------------------------

鎌倉幕府の重鎮として活躍した金沢北条氏の菩提寺で、浄土庭園を有する金沢山称名寺に隣接した中世歴史博物館。国宝「善時寺聖観・金沢文庫文書」や鎌倉時代を中心とした彫刻・絵画などを調査・研究し、その成果を中世の歴史と文化に関する多様な展覧会を通じて発信しています。また、館内の図書室には日本史や郷土史に関する文献が多数所蔵されており、学習の場としても利用いただけます。展示をご覧になった後は、「かなぶんカフェ」で一息つくとおすすめ。

30	横浜・八景島シーパラダイス アクアリゾート 海・島・生きもののテーマパーク
-----------	---

「横浜・八景島シーパラダイス」は、「海・島・生きもの」がテーマの複合型海洋レジャー施設です。700 種 12 万本の生きものを展示する日本最大級の水族館「アクアミュージアム」や、海の生きものとともにふれあい体験が楽しめる「ふれあいラウン」などテーマの異なる 4 つの水族館をはじめ、子供から大人まで楽しめるアトラクション・ショッピングストア・レストラン・ホテルなどが揃う、海に囲まれた自然環境あふれる施設です。

31	金沢動物園 地形を生かしたオオツノヒツジの展示場
-----------	------------------------------------

東京臨海臨高台に位置し、園内でも高低差のある金沢動物園。その地形を生かして作られているオオツノヒツジの展示場は、オオツノヒツジの生息地のような急斜面の岩山になっています。来園者は岩山を軽やかに移動するオオツノヒツジを下から見上げることもできますが、さらに園路を進むと岩山の上部からオオツノヒツジと同じ目線で岩山を見下ろすこともできます。金沢動物園開園当初に作られた展示場ですが、計画的な繁殖も進められており、2019 年にも赤ちゃんが生きています。

32	横浜水道記念館 水道と市民のふれあいの場
-----------	--------------------------------

日本で初めて「近代水道」が横浜に創設され 100 周年を迎えた記念事業の一環として、水道の歴史や貴重な資料を広く公開するとともに水道と市民を結ぶコミュニケーションの場とすることを目的として設置されました。別棟の「水道技術資料館」と合わせ、無料で一般公開しています。春の桜や四季の草花を鑑賞でき、夏は正面噴水プールの開放などに加え、小中学生の社会科見学や新採用職員及び海外研修生の受け入れなどでも活用され、多くの市民に親しまれています。

33	神奈川県立公文書館 記憶と記録の交差点 公文書館
-----------	------------------------------------

歴史資料として重要な行政文書、古文書等を収集・保存し、県民共有の記録遺産として後世に伝える施設です。収蔵している資料は、約 24 万点の歴史的公文書、約 17 万点の古文書・私家文書、約 17 万点の公文書・私文書。資料を閲覧することにより、県の施策・業務を調べたり、地域の歴史等を調べることが出来ます。常設展示やミニ展示、古文書講座等も実施しています。資料の閲覧については、当館ホームページからも検索・閲覧予約ができますので、ぜひご利用ください。

34	よこはま動物園ズーラシア ようこそ、世界一周の動物旅行へ
-----------	--

「生命の共生・自然との調和」をメインテーマに掲げるよこはま動物園ズーラシア。2019 年に 20 周年を迎えた、日本最大級の動物園です。広大な敷地で世界の希少動物を数多く飼育し、その生息環境を再現しています。園内は世界の気候帯・地域別に 8 つのゾーンに分かれています。ゾーンごとに異なる文化や植物を取り入れ、歩きながらその土地の雰囲気を感じる事ができます。ぜひ、世界一周の動物旅行をお楽しみください！

35	神奈川県立地球市民かながわプラザ(あーすぶらざ) キーワードは国際・多文化共生・平和・子ども！
-----------	---

あーすぶらざは、「国際」「多文化共生」「平和」「子ども」をキーワードにした総合的な施設です。3 つの常設展示室(子どもファンタジー展示室・国際平和展示室・こどもの国際理解展示室)があり、週末に様々なイベントを開催しています。企画展示室では、年に数回、世界の文化等をテーマにした企画展を実施し、映像ライブ러리では、キーワードに合わせた本・雑誌・DVD・絵本(多言語)を揃えています。情報プログラムでは市民活動支援や外国人相談窓口を開設しています。

※記載してあります No. は裏面の館情報 No. と一致しています。